

第3回定例会

・決算審査特別委員会②

第3回定例会

・決算審査特別委員会①

但木 学校給食について、農協の協力を得て地元食材を活用しているようですが、冬期間はじゃがいもとキャベツだけになっており、もっと食材を広げていくことはできないのか伺います。

地元食材の利用拡大

農務課長 実習を行った農家が離農した際に、そこに居抜きで入りたいという話をしていた実習生が1名いると聞いています。

但木 実習を行った8名に就農に結び付く可能性はありますか。

農務課長 新規就農者対策として、農協へ補助金を80万円支出しており、農業フェアなどへの参加費、研修生受け入れの交通費、宿泊費等に充てられています。農業実習生については、新規就農・担い手受け入れ事業により8名の方が、1週間から2週間程度の実習を行っています。

但木 町の基金の運用に債券が用いられていますが、運用状況について伺います。

債券による基金の運用



地元の食材が利用されている学校給食

学校給食センター長 じゃがいもとキャベツは農協に保存を頼んでおり、利用できる期間が長いので、この2種類を多く使用しています。その他の食材については、できるだけ北海道産を多く使うなどの努力をしています。

決算審査特別委員会
9月23日・24日

令和2年9月23日開催の第3回定例会において、令和元年度一般会計及び6つの各特別会計の決算が提案され、議長及び議会選出の監査委員（高橋議員）を除く8名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託して審査することを決めました。

9月24日に開催された決算審査特別委員会の質疑についてお届けします。
なお、紙面の都合上、質問と答弁は要約しています。

令和元年度一般会計
決算を徹底審議！

決算審査特別委員会

質疑の中から

図書館の利用状況

佐藤 図書館費について、昨年度の図書館の利用状況を伺います。

図書館長 昨年度の利用者1人当たりの図書貸出率（1人が何冊借りているか）は10.2冊で、過去10年間10冊前後で推移していることから、人口減少が進んでも図書の貸出はそれほど落ち込んでいないと考えています。



人口が減少しても利用状況は変わらない図書館

また昨年度の図書館利用者登録の人口に対する割合は43.9%で、移動図書館車及び団体への貸出を含めた1日当たりの貸出率は1日188.5冊となっています。なお、町民1人当たりの蔵書数は14.8冊となっております。

数は14.8冊となっております。蔵書数は多いときは10万冊程度ありましたが、現在は書庫の関係で7万5千冊程度まで減らしています。

新規就農対策の状況

但木 農林水産業について、昨年度の新規就農者対策の状況と、農業実習生などがどれくらい来ていたのかを伺います。

会計管理者 債券の運用は、安全性などを考慮して地方公共団体金融機構や国際協力機構の債券を購入して運用しており、昨年度末で14億円分の債券を保有しています。

「地方公共団体金融機構」
全ての地方公共団体の出資により設立された法人で、地方公共団体へ資金の貸付を行っています。

「国際協力機構（JICA）」
政府開発援助（ODA）により、開発途上国への援助を行う独立行政法人

但木 債券の運用にはリスクが伴うと思いますが、債券の安全性の見極めなどどのように行っているのか伺います。

会計管理者 債券を購入する際には、安全性を判断するポイントを設定し比較を行うほか、専門家の意見を聞くなど、常に安全性を考えて運用を行っています。

決算審査特別委員会委員長報告

(要旨)

令和元年度の財政状況等につきまして、継続してきた行財政改革の効果が発揮され、健全な状態となっております。

国・地方ともに債務残高が膨大化し、さらに新型コロナウイルス感染症により景気は急速に悪化する厳しい状況にありますが、本町の自主的・主体的なまちづくりを展開していくため、健全な財政運営を進めるべく努めています。

地方自治体を取り巻く環境は、財政・医療福祉などにおいて地域間格差が拡大し、依然として厳しい状況の中、今後の財政運営は、事務事業の費用対効果の検証・点検を行うとともに、国・道の助成制度の活用によるバランスを重視し、将来世代に過度の負担を残すことの無いように努めることを望むものであります。

令和元年度決算状況

区分	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	収支差引
一般会計	48億2,900万円	48億7,997万円	46億9,432万円	1億8,565万円
簡易水道特別会計	3億7,800万円	3億8,065万円	3億6,994万円	1,071万円
国民健康保険特別会計	8億2,858万円	8億3,029万円	8億2,712万円	317万円
公共下水道特別会計	2億908万円	2億1,010万円	1億9,833万円	1,177万円
介護保険特別会計	5億2,837万円	5億3,578万円	5億1,415万円	2,163万円
介護サービス事業特別会計	2億7,485万円	2億7,809万円	2億7,092万円	717万円
後期高齢者医療特別会計	8,974万円	9,008万円	8,925万円	83万円
合計	71億3,762万円	72億496万円	69億6,403万円	2億4,093万円